



◇別れの言葉に添えて

◇記事内容

農業班：どんな作戦？
豊科店：年明け後も
有明店：体調管理に気をつけて
外販部：お客様の笑顔に！
DTP：チェックにチェックを

◇コラム：自立とは？

夢トライ通信 2月号

発行日：2015年2月14日
発行：NPO法人 夢トライ
所在地：〒390-0805
松本市清水2-11-45

電話：0263-35-3530
FAX：0263-35-3547
メール：npo@yumetry.com
URL：http://yumetry.com/npo

「別れの言葉に添えて」

ハウスマザー 早川道子

新しい年を迎え、すでに藤森さんであり、スタッフに
一ヶ月余り。何から書けば良
いか解らない程の月日を、Be
イングと共に生きてきました
が、60歳という年齢を迎え昨
年の入院後、体調も思わしく
なく、只々懸命に仕事をして
おりました。本年度4月より
夢トライ全体が大きく変革期
を迎える事もあり、益々の成
功を願い、私自身も今後の生
き方を見つめ直そうかと思
い、今年退職させていただく事
になりました。私が夢トライへ
と来るきっかけになったのは、
夢トライ初代理事長唐沢
氏との「アメリカへの派遣事
業」が県として行われていた
頃。アメリカADA法という
障害のある人達の法律の元、
様々な施設を見て学ぶという
ものでした。松本より唐沢氏
と私が同期で、日本へ戻り、
違う日々を過ごす中、現理事
長伊藤さん、唐沢氏との出会
いがあり、「パソコン通信研
究会」を含めたボランティア
の皆様との出会いなど「夢ト
ライ工房」発足へと進みまし
た。この時のボランティアの
一人が田中宏治さんであり、

ゆえ、厳しい言動も多々あり
ました。心よりお詫び申
し上げたいと思います。Beイ
ングの長い人は、10年余り一
緒にBeイングで過ごしてい
て年々、歳をお互い感じて参
りましたが、どうかどうか自分
の人生を大切に、これからも
過ごして下さい。
覚えていますか？グループ
ホームって何なのだろう？と
皆でいろんなグループホーム
の見学をし、あの時「これ
だ！」と思った所がありました。
たネ。お年寄りの理事長先生
の元、三人の入居者のいる古
い作りの建物の案内をしてい
る時、お年寄りの理事長先生
がよろけて転びそうになり、
こちらが高齢の入居者の方達
が支えていたのを。今、思
い出しても涙が出てしまう程
の美しく汚れない光景でし
た。「こんな場所を作りたい」
と願いつつ、志半ばですが、
私はパン屋で自分の体力を使
い果たしリタイアしますが、
Beイングは伊藤理事長が、あ
の日の理事長先生のように、
皆さんをきつと支え、皆さん
も伊藤さんが転びそうになっ
たら支えてあげられると思
います。私のイメージそのもの
で暖かいものを感じます。
15年の月日を語り始めた

ら、何十枚分もの原稿になり
そうですが、私なりに懸命に
夢トライと共に歩み、この歩
みも悔いはなかったと自分に
言い聞かせ、別れの言葉とさ
せていただき、静かに幕を閉
じたいと思います。本当に、
ありがとうございます。夢
トライは、大きく今後も益々、
いく久しく栄え、若き未来あ
る職員さん達と共に良き日々
でありますようにお願い、夢
トライにいられている一人一
人の利用者さん達の日々を目
配り、気配り、心配りを忘れ
ず夢トライの本質は失う事な
く、労を惜しむ事なく過ごし
ていただけるよう願っております。
（私も花の咲く美しい
季節を夢見て、60歳だからこ
そ出来る何かを探してみよう
と思っております）
ご挨拶も全ての方には出来
ませんが、お一人お一人の倅
せを陰ながら願いつけており
ます。本当に、ありがとうございます。
ございました。Beイングスター
ト時に、伊藤さんが私に付け
てくれた肩書きの「ハウスマ
ザー」が大好きな言葉でした。

15年の月日を語り始めた
ら、何十枚分もの原稿になり
そうですが、私なりに懸命に
夢トライと共に歩み、この歩
みも悔いはなかったと自分に
言い聞かせ、別れの言葉とさ
せていただき、静かに幕を閉
じたいと思います。本当に、
ありがとうございます。夢
トライは、大きく今後も益々、
いく久しく栄え、若き未来あ
る職員さん達と共に良き日々
でありますようにお願い、夢
トライにいられている一人一
人の利用者さん達の日々を目
配り、気配り、心配りを忘れ
ず夢トライの本質は失う事な
く、労を惜しむ事なく過ごし
ていただけるよう願っております。
（私も花の咲く美しい
季節を夢見て、60歳だからこ
そ出来る何かを探してみよう
と思っております）
ご挨拶も全ての方には出来
ませんが、お一人お一人の倅
せを陰ながら願いつけており
ます。本当に、ありがとうございます。
ございました。Beイングスター
ト時に、伊藤さんが私に付け
てくれた肩書きの「ハウスマ
ザー」が大好きな言葉でした。

定例会議事録より

■日付および場所
日付：1月17日(土)

■出席：17名(職員を含む)

■主な内容
・パン製造販売部門の分離作
業は順調に進んでいる。
・パン製造販売部門は前期
(4月～8月)は赤字だった
が、6月から製造原価を下げ
る作業を始めた結果、後期(9
月～12月)は黒字になった。
・DTP部門の売上が
1600万(ピーク時)から
400万に減ったため赤字に
陥っている。原因として「印
刷物の誤字・脱字」「注文時
の対応の遅れ」「納期を守ら
ない」が挙げられる。

3月の予定 □は休み

Calendar table for March with columns for days of the week and dates, including a floral illustration.



看板 垂幕 催物会場一式請負

横断幕・垂れ幕・看板～ポスター・チラシ・チケット作成等

夢トライ工房 〒390-0805 長野県松本市清水2-11-45 電話 0263-35-3530 FAX 0263-35-3547
E-mail: yumetry@yacht.ocn.ne.jp

長野県看護研究会	長野県民松本文化会館	日本A D / H D 学会総会	東京大学鉄門記念講堂
日本看護研究学会	松本市市民芸術館	S S T 普及協会学術集会	群馬県民会館
SST 経験交流ワークショップ	一橋大学兼松講堂	松本市高齢者健康大会	松本市市民芸術館
APASLSingle Topic Conference	幕張メッセ国際会議場	日本総合病院精神医学会総会	都市センターホテル (東京)
NASH 2010	グランドプリンスホテル高輪	日本精神病理・精神療学会	津田塾大学津田ホール
日本総合病院精神医学会総会	栃木県総合文化センター	日本女性骨盤底医学会学術集会	大宮ソニックシティホール

主な会場一式請負実績

D T P

今月の状況

年初めは毎年のことですが、仕事に困ります。課題としてなんでも夢屋店舗の看板作成をしておりますが、一週間作成してはボツになり、結局一ヶ月を経過してしまいました。しかし、この課題を通してお客様の目にとまり、内容が伝わる看板とはどういうものかをスタッフと共に突き詰めていきたいと思います。

そんな中でも大きな仕事はありました。印刷された名簿の電子化の仕事です。入力出来るスタッフ総出で約1ヶ月かけて、2703件の郵便番号、住所、氏名、電話番号、フリガナの5項目を入力しました。入力するまではよかったのですが、この仕事はその後の文字チェックが大変でした。1回目が出来た端からチェックしてもらい、2回目も行ったところ、変更箇所が思ったよりもあり、チェック

クの重要性和大変さを感じました。

2月に入り年末年始の慌ただしさも去り、店舗も落ち着いた感じになりましたので、今年の目標(来年度の方針)のため、今までの統括を行い、少しでもお客さんを増やし、売り上げを伸ばせるよう統括を行いました。結果、「誤字・脱字」や「納期の遅れ」が客離れを招いたと考えられました。本来なら文字チェックや納期は受注票で確認できるようになっていたのですが、今までそこがルーズになっていました。統括を通じ、「きちんと受注票を利用しよう!」ということ、日々のスタッフへの受注状況の報告や、文字チェック後のチェック者の記入などをルール立てて行うようになりました。



入力作業をするスタッフ

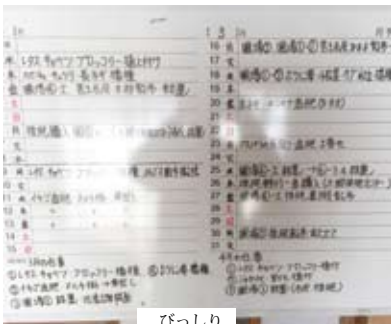
また、今まで明文化されていなかったDTPでのルールを書面化し、皆で守って少しでもお客様にいい印象をもって頂けるように努めています。今はまだ、ぎこちなさがありますが、この習慣を続け(ルールを守る事が)当たり前になれるように、日々職員、スタッフ共に意識していきたいです。

ふれあい農園

農業班の部屋は、作戦基地!

立春も過ぎて暦では「春」の到来ですが、まだまだ朝晩は氷点下の気温、日中でも「今日は暖かいね」と言っても5℃以下という一年間で一番寒い季節となっております。

農業班では、畑仕事が無い中で、昨年末に植えたトネル栽培の法蓮草が収穫でき、パン外販と一緒に販売してもらっています。この時期の露地栽培の法蓮草は、甘くてとてもおいしいのですが、見た目は、葉がチジレていたりとしています。お客様には大変好評で完売してしまうそうです。



びっしり

とはいえ、畑作業が無い中で、今やっていることは、ひと月後になった畑仕事の作付け計画を丹念に作る仕事です。すでに、3月、4月、5

月の予定は一杯で、「これは大変。出来るのかな?」と合言葉のようにホワイトボードに記入しながら進めています。



予定を確認中

農業班の部屋は、写真のように襖と障子で囲まれているので、襖には、使い捨てのホワイトボードシート(15m / 2500円)を全面に貼り、部屋中が栽培のポイントや、作付け計画や播種時期、植え付け時期で埋め尽くされています。一見すると、落書き

たり、春の訪れを体中で感じながらビニールハウスや資材置き場などを整理しています。

農業班のスタッフには、「明日の為の仕事」の大切さと楽しさを身につけて戴こうと思っています。畑仕事に必要なことは、計画する事、調べる事、学ぶこと、諦めない事という仕事の基本を身につけることなのです。



計画だらけです

6畳の日本間で古い石油ストーブが一台だけですが、日が当たると温室のように暖かいので、皆はストーブを消してしまいます。昨年、塩尻市の社会福祉協議会の方々が見学に来られた時「まるでトトロの家みたい」といってお帰りになりましたが、農業班のスタッフが微笑ましく見えたのでしよう。

この厳寒の季節ですが、畑に出ると春らしい陽射しが当

きが壁中に!といった風情です。



いたる所に貼っております

有明のパン屋さん

本 店 〒399-8302 長野県安曇野市穂高北穂高 2216-1
 コープ豊科店 電話 0263-88-3307 F A X 0263-88-3318
 〒399-8205 長野県安曇野市豊科 2637-4
 電話 0263-88-7328



新作パン紹介 いちごコロネ

いちご風味のシートをねり込んだ生地、いちごとノーマルのホイップクリームをダブルで入れました。味はもちろん見た目もかわいく仕上げました。一足先に春のスイーツパンはいかがでしょうか。

手作りカスタードパン

中に入っているカスタードから手作りで作りました。甘さをおさえてシンプルでやさしいお味となっております。



いちごコロネ



手作りカスタードパン

月	安曇野地域	松本地域
月	豊科総合支所 12:00~	寿台養護学校 11:30~
	安曇野赤十字病院 12:00~	
火	安曇野市支援センター 12:00~	松本市総合社会福祉センター 11:30~
	豊科病院 12:00~	
水	てとてと松川作業所 12:00~	外販定休日
	大町市役所 12:00~	
木	穂高総合支所 12:00~	松本市社会福祉北部センター 11:30~
	合同庁舎・就労センタ 12:00~	松本市役所東庁舎1階ホール 11:30~
金	安曇野赤十字病院 12:00~	松南病院 11:30~
	大町合庁 12:00~	寿台養護学校 11:30~

※上記は、主要な外部販売先です。イベント等にも出店することが出来ますので、お気軽にお電話ください。
 連絡先：電話：0263-88-3307 担当：丸山

豊科店

年が明け、まだ厳しい寒さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

2015年という新たな年に向けて、今年目標を掲げている方も多いかと思えます。豊科店では、1月1日以外営業しました。年末年始はやはり、普段に比べるとお客様の数も少なくお正月ムードでしたが、そんな中スタッフや職員など少ない人数でも、休日のローテーションをうまく組み、皆で協力して営業しました。また、1月末には2ヶ月に1度の衛生監査がありました。衛生監査が近付くとスタッフ、職員がより一層掃除や衛生に気を配り、普段は気付くことのできない場所や、忙しくて手の届かない場所を個々で見つけ出し、徹底してしました。監査では、いくつか指摘を受けましたが、その後すぐに改善に努めました。こういった監査の時だけではない



早川さんが毎日書いてくれたボード

く、日々の意識がとても大切であると強く感じています。これからも気を緩めることなく、さらに気を引き締めて働きたいと思っております。

また1月いっぱい、早川さんがご退職されました。辛い別れとなりましたが、私たちは成長し、前へ進んでいかなくてはならないのだ、と感じています。今後とも、有明のパン屋さんをどうぞよろしくお願ひします。

有明店

年が明けて早1ヶ月が経過致しました。気温も低く、底冷えをする今日この頃です。体調の面でも風邪にかかる時期でもあり、医療機関の掲示物においては、インフルエンザが大流行の注意勧告が掲示されており、感染すると最低一週間は仕事に参ることが出来ません。その為、手洗いやうがい等の徹底をお願いしております。他、感染性胃腸炎も流行していますので、感染しない為の予防策については先に述べました、手洗い・うがい等で自己防衛をお願いする次第です。さて、施設内

の様子ですが、仕事に対しては、指示されていないこと以外

外の仕事も積極的にこなせる方が見受けられます。忙しい所を手伝いに入る姿勢は、とても大切かと思えます。さて、

パンの商品開発としては、恵方巻きパン・雪だるまパン・ラビットパン等を販売しております。他、スタッフの提案で、からし明太子ポテトの商品開発をし、販売し、売れ筋としての一つになっております。



恵方巻きパン

これからも、仕事を行う中でスタッフの提案を取り入れ、商品開発をして行きたいです。

外販部

今年も1年スタートしたぞ!!と思ったら、もう2月になっちゃいました。思えば新体制でスタートした1月少人数ではありましたが皆で協力して、パン販売が出来ました。一人一人が自分の仕事を責任もって出来る様になり、

少人数でも、今まで以上に良いパン販売が出来ています。しかし、これだけは、どうにもできません。雪です…。道路

の状況を考えながら行動しなければなりません。いつもと違う予定になることもありました。外での販売もあるため寒さとの戦いもありました。そんなとき、うれしく思う事は「良く来たね!!パン屋さん来てないと思った!!良かった!!」という言葉をかけてもらう事。その言葉で寒さや辛さを忘れてしまいます。大変でも、お客様の笑顔を忘れず事故のない様、皆で頑張っています!!

最後にOさんが入院しており、毎日出勤できませんでしたが退院しました!!おめでとう!!フルメンバーでがんばります。



大雪でも

グループホーム

BEING ビーイング



N君が作ったどっこい定食

貴方の時計はどのように時を刻んでいますか？
そして、貴方はどのように時を刻みたいのですか？
ひとり一人の速さで、ひとり一人の秒針の長さで時を刻める場所、それがBeイングです。
私たちBeイングができること、それは何らかの障害をもっているとしても時代の中で、社会の中で、街の中で自分らしい生活をいとなむことのできる場所と、その鍵をお渡しすることです。

お正月休みを実家や、Beイングで過ごした人など様々でした。

実家からBeイングに戻ってきたT君がなんと「ウイルス性胃腸炎」にかかってしまい、新年早々、一週間仕事を休むことになってしまいました。T君はとても残念がっていました。

また、同じBeイングのMさんもお正月に、体調を崩し、風邪をひいてしまいました。お正月休みで一年の疲れをしっかりと、取ってきたつもりなのですが：(笑)。その他の入居者の皆さんは、各自で楽しいお正月休みを過ごしたようです。入居者のN君は、ほとんどの入居者の人たちが帰ってしまったため、ちょっと寂しいお正月休みとなりましたが、伊藤さんや早川さんたちと、楽しいお正月休みを思いっきり、満喫したようです。

Beイングは、一日たりとも休みがありません。365日フル回転しています。いつ帰っても温かみのある、Beイング。これからも一日一日を大切に、職員さんたちに感謝し、笑顔でまた、一年間頑張つて、仕事に取り組みしていきたいと思えます。今年もたくさん笑つて、たくさん話して過ごしましょう。

コラム

「自立って？何」(上)

障がい者福祉に携わっていると、どの様な会議でもこの「自立」という言葉が聞こえない場がありません。誰もが口にする「自立」という言葉が、何を意味しているのか、どの様な状態を「自立」というのか？この「自立」という概念、状態を明確に定義しておかなければ、障がい者支援の根幹部分で一步も進まないのです。

大辞林等では、「自立とは、他の助けや支配なしに自分一人の力だけで物事を行うこと。ひとりだち」と結構現実離れした定義がなされています。現実社会では、ありえない事のように思えます。このような状態で社会に存在する人間は「いない」と断言しても良いでしょう。もし存在するとすれば、神様ぐらいなものでしょうか？

社会福祉の「自立」の概念は、「自らが自らの生活を、自らの意思で設計し、支援者などの支えを活用しながら、当事者自身がコントロールすることが出来ること。」と定義出来るでしょう。

これらの定義は、社会生活を維持していく手段、生活技術という面で「自立」を定義しています。しかし、人間が

社会の中で生活することは、自分以外の人、組織、機関等と相互交換関係を持たなければ瞬時たりとも生活する事はできません。又、すべての選択が正しいという事もありえません。「自立」を定義する場合、社会関係の中の「自立」として考えなければならぬのです。

障がい者情報誌『リハビリテーションマガゼット』では、「自立とは、どこに住むか、いかに住むか、どうやって自分の生活をまかなうか、を選択する自由をいう。それは・・・自分の生活一日々の暮らし、食べ物、娯楽、趣味、悪事、善行、友人等々すべてを自分の決断と責任でやっていくことであり、危険を冒したり、誤ちを犯す自由であり、自立した生活をする事によって、自立生活を学ぶ自由でもある。」と定義されています。

学ぶ過程で起る危険、過ちをおかすリスクも含め自分の決断と責任で行う事」となります。

「昔のこと」を前月号まで書いてきましたが、多くの過ちと危険をおかしながら青年期を過ごしてきた事、そして、今、何とか生活出来ている事は、奇跡のように思います。18才から24才までの7年間、希望と絶望、放蕩と自暴自棄、混沌と錯乱の中で過ごした時期でした。

この時期に絶対に捨てなかつた事と学んだことは、「フリーハンドを持ち続ける事」と「出会った人々への感謝」です。

フリーハンドとは、「他からの制約や束縛を受けないこと」と訳されますが、人が社会で生活する限り様々な制約や束縛を受けないわけにはいきません。社会規範や常識・風習・慣例・法律等もあれば、経済的制約や家族・友人・職場の同僚等との人間関係における束縛もあります。その社会の中で自分の生き方、在り様を自分の責任で決断する自由をフリーハンドを持つ、とは私は表現します。「自分の責任で」とは、その結果がどの

様な事であっても他者や環境・社会に原因を転嫁しない、という事です。

その過程こそ、多くの人の出会いと別れ、決別と遭遇を繰り返して生きていく人生という生活です。その道程で関わり合い相互に影響し合った方々は、自分の意に反する反しないに拘らず人生の同伴者と言えます。ですから、感謝以外の言葉で表すことはできません。

自立とは、自分の足でしっかりと社会という大地に根を張つて立ち、青々とした多くの葉を茂らせた枝で実をつけ小鳥や動物たちの生活を支え、木陰を作り人々の癒しを提供する森の一本の木に例えられます。

次回では、私の「自立」の支えとなった宮城健という詩人をご紹介したいと思います。

編集後記

年が明け、早くも1ヶ月が経ちました。【夢トライ通信】も、17号目の発行となりました。この数をこの新聞が続く限り、伸ばしていけたらと思います。応援よろしくお願います。(高野雅也)